

情報提供資料 2021年11月

追加型投信/内外/株式

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド〈愛称:健次〉

運用の視点

中長期投資が浸透する昨今、当ファンドは設定当初から一貫して中長期的な目線で運用を続け、運用実績は17年を超えました。純資産総額は2021年10月29日現在おかげさまで2,020億円となり、多くのお客様にご愛顧いただいております。今回は、当ファンドの運用チームがどのように運用を行っているのか、「運用の視点」という切り口から当ファンドをあらためてご紹介致します。

≪実質的な運用を行うウエリントン社の運用チーム≫





※ 本資料は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、「ウエリントン社」ということがあります。)のコメントを基に三菱UFJ国際投信が作成しています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。



米国・ボストン創業 1928年

運用資産残高* 154 兆円超 運用プロフェッショナル 920人

運用拠点 世界 15 都市

~運用チームからのごあいさつ~

当ファンドをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

テクノロジーの進歩や研究開発の加速により、今まさにヘルスケア業界は革新を遂げています。 たとえば、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)のワクチンが前例のないスピードで 開発されたことは、みなさまにとってもヘルスケア業界の「革新性」を肌で感じられた出来事 だったのではないでしょうか。今回のワクチン開発の技術が他疾患の研究開発にすでに活かされ ているように、ヘルスケア業界の革新は、新型コロナが終息しても続いていくでしょう。

私たちは、ヘルスケア業界で行われている多数の研究開発を正しく分析し、そこから投資機会 を見つけ、当ファンドのリターンにつなげることをめざしています。そのため当運用チームには、 医学や生化学のバックグラウンドを持つ者、医薬品企業等で研究経験を持つ者など16名もの医療 に精通するメンバーが在籍し(2021年9月30日時点)、当ファンドの運用に携わっています。また、 日々のモーニング・ミーティングを通じて世界中にいる運用プロフェッショナルと繋がり運用に 活かせる知見や投資アイデアを共有していることはウエリントン社ならではの運用の強みと自負 しています。これからも、運用チーム一丸となって、当ファンドのリターンの最大化をめざし、 尽力して参ります。

2021年11月

≪主な運用メンバーのご紹介≫



Robert L. Deresiewicz シニア・マネジング・ディレクター& ポートフォリオ・ グローバル産業アナリスト

当ファンド設定時からヘルスケ ア企業の調査・運用に携わる メンバーで、現在運用チームの チームリーダー。

ポートフォリオ・マネジャ

グローバル産業アナリズト

シニア・マネジング・ディレクター&

修士号を取得後、会計士として キャリアをスタートさせました。 ウエリントン社に入社後は、 高い分析能力を活かして幅広い 投資対象の調査と運用業務を 担当しています。

Wen Sh マネジング・ グローバル産業ア

Ann C. Gallo

ウエリントン社に入社後は、 専門的な知見を活かし、Dr. Bobとともにバイオテクノロ ジー銘柄を中心とした株式 調査を担当しています。

オックスフォード大学で医学

腫瘍学の博士号(PhD)を

取得後、複数のコンサルティ

ングファームでバイオや製薬

会社を担当しました。

当ファンド設定時からヘルスケ ア企業の調査・運用に携わる

医師免許を持ち、ウエリントン 社の社内でも"Dr. Bob"の愛称 で親しまれています。ハーバー ド・ビジネススクールでMBA を取得、米国医師会および米国 感染症学会に選出されるなど幅 広く活躍しています。

・運用メンバーおよびその肩書は作成時点のものであり、変更になる場合があります。

(出所) ウエリントン社のコメントを基に三菱UFJ国際投信作成 *為替は1米ドル111.92円(2021年9月30日時点)として換算 ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものでは ありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

パフポーマシス

当ファンドは、長期にわたり運用実績を積み重ねてきました。 当ファンド設定からのヘルスケアニュースとともにパフォーマンスをご確認ください。



(期間) 2004年2月27日(設定日)~2021年10月29日、日次

・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファン ドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

くご参考:ヘルスケアニュース> 当ファンドの設定から現在までの間には、多くの新薬や 医療機器が登場するなどヘルスケア業界は進化を続けてきました。また、米国では医療保険制 度に関する制度改革もあり大きな転換点となりました。簡単に振り返って見てみましょう。

2005 2006

2010 2012 2014 2020 2021

遺伝子を高速で解り 読する装置「次世 代シーケンサー」 が相次いで登場

当時のオバマ米大統領 は、国民皆保険をめざ す医療保険改革法

を成立させた

従来の抗がん剤とは異な るメカニズムの新しいが ん治療薬「オプジーボ」 が承認・販売 された

新型コロナの ワクチンが登場



京都大学の山中教授が世界 で初めてマウスの皮膚細胞 からiPS細胞を生成 (2012年ノーベル医学生

理学賞受賞)

「クリスパー・キャス9」 と呼ばれる画期的な遺伝子 編集技術が登場(開発者は 2020年ノーベル化学賞を 受賞)

世界で初めてアルツ ハイマー型認知症の 治療薬が米国で迅速 承認された

・上記は一部であり、すべてを網羅するものではありません。

(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものでは ありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

ピファッドの銘柄選定

当ファンドの銘柄選定について、ポイントを3点ご説明します。



当ファンドは信託財産の中長期的な成長をめざすため、**中長期的に成長が見込める** と判断した銘柄に投資を行っています。

そのため、保有銘柄が短期的に下落することがあっても中長期的に成長が見込めると判断すれば投資を継続します。

2

銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行い、個別銘柄の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。

具体的には、下記のようなポイントについて、個別銘柄の調査分析をしています。



既存製品等の売上動向等

既存の製品や医薬品、サービス等の売 上分析、今後の予測、市場が過小評価 している点などを調査。



新薬等の開発動向

研究開発中の新薬や新製品、サービス 等がどの程度市場シェアを獲得できる のか等、収益インパクトを含めた見通 しを精査。



政策動向や規制

薬価や医療保険制度に関する政府の発言・政策変更や規制動向に注視。



ESGへの取組み

ヘルスケア株式は品質や安全性、薬価、レピュテーション (評判)リスクなど社会(S)の比重が相対的に高い傾向があり注視。 ・ESGとは、「環境(Environment)」 「社会(Social)」「ガバナンス (Governance)」の頭文字をとって作 られた言葉で、企業が長期的成長を目指 す上で重視すべき観点として知られてい ます。

中長期的に成長が期待できるビジネ

ス戦略か、適切な資本政策かどうか、

企業ミーティングなどを通じて判断。

経営陣の質や資本政策

・上記は一部であり全てを網羅するものではありません。



銘柄選定では、**株価のバリュエーション(割高、割安の度合い)を重視しています。** そのため、評価できる銘柄であっても株価が高すぎると判断した場合には新規購入 を見合わせることや、保有銘柄が下落している局面であっても成長性への確信度が 高い場合には追加購入を行うこともあります。

各銘柄に応じたバリュエーション精査を行います。

1 将来性に着目 「インカムアプローチ」

企業の将来の収益やキャッシュフローの予想などを 指標として精査

→当ファンドでは主に医薬品、バイオテクノロジー、 ヘルスケア機器・用品銘柄などの評価に使用。

2 客観的に評価 「マーケットアプローチ」

PER(株価収益率)などの指標を用いて競合他社・ 業界平均・過去推移等と比較し精査

→当ファンドでは主に医療サービスや医療保険銘柄* などの評価に使用。

*ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスに属します。

バリュエーション精査は、複数の指標を使い多面的に行います。

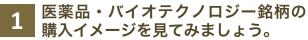
・上記は一例であり全てを網羅するものではありません。実際には銘柄により条件等が異なるため、上記の通りとならない場合が あります。

(出所)ウエリントン社のコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

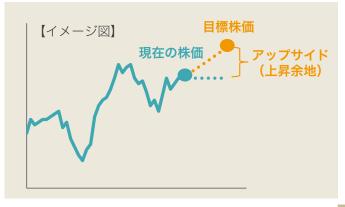
・業種は、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類しています。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ピファッドの銘柄選定

さらに詳しく知りたい方は、下記をご覧ください! 個別銘柄の購入イメージをご紹介します。



※インカムアプローチ



✓ 主に下記3つの要素を基に目標株価を算定

想定患者数

TAM (Total Addressable Market) 分析と呼ばれるもので、開発中の治療 薬で治療可能な患者数等を算出。



想定薬価

開発中の治療薬の治験が成功し、上市 した場合の薬価を分析。



想定市場シェア

開発中の治療薬の治験が成功し上市した場合の当該分野における市場シェアを下記観点から多角的に考察。

- ・治療薬の競争優位性
- ・適応となる疾患の範囲
- ・既存製品との棲み分け

など

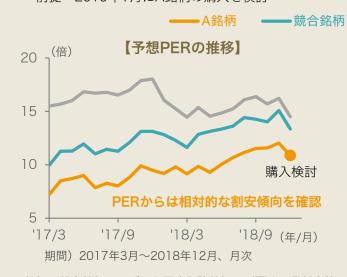


上記をベースに投資候補企業の適切な目標株価を算定し、アップサイドが現在の株価に対して十分に大きい場合には、他の要因等も精査した上で投資妙味があると判断し購入を実行します。

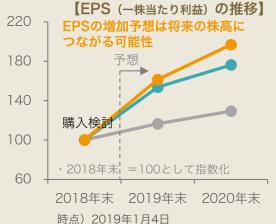
医療保険銘柄の購入イメージを見てみましょう。

※マーケットアプローチ

✓ 複数の指標 (下記は指標の一例) を用いて競合他社や業界平均等と比較し多面的に分析 前提:2019年1月にA銘柄の購入を検討



一所属する業種全体



・A銘柄、競合銘柄:いずれも医療保険銘柄、所属する業種全体:ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス



PERなどの複数の指標からバリュエーションを確認し、他の要因等も精査した上で投資妙味があると判断した場合、購入を実行します。

(出所) ウエリントン社のコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、個別銘柄の購入についてご理解を深めていただくために簡略的に作成したものであり、全てを網羅するものではありません。また、実際は銘柄により条件等が異なるため、上記の通りとならない場合があります。ヘルスケア業界の他業種の銘柄については、上記の通りとならない場合があります。・業種は、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類しています。上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

当ファッドの直近5年間の投資行動

運用チームは、実際にどのような投資行動をとってきたのでしょうか。 直近5年間における投資行動の一例を基準価額とあわせてご紹介します。



■ 投資行動の一例と基準価額の推移

【投資行動】

(期間) 2016年9月末~2021年9月末、日次

① 政治リスクへの対応(2016年)

2016年秋の米大統領選挙に向けて、 米国では薬価引き下げ圧力が高まったため、相対的に影響を受けにくいと考えられるヘルスケア機器・用品銘柄や民間医療保険*銘柄への投資比率を高め、当ファンドの基準価額の安定に努めました。

*ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスに属します。

② 新技術への投資(2018年)

新しいがん治療薬に対する確信度が高まり、 同分野で先行する銘柄を新規購入、現在も同 銘柄に期待する見方は変わらないため保有し ています。

未上場時から調査していたバイオテクノロジー銘柄について同銘柄の技術を評価し上場後に新規購入、2019年に大手医薬品企業による買収が発表され株価が上昇したため売却しています。



③ コロナショック時(2020年2~3月)

新型コロナに関連する銘柄が注目されましたが、 この時点では先行きに不透明な部分も多かったため、 新型コロナという観点のみでの購入は行いませんで した。

購入した銘柄は、コロナショック以前から調査していた銘柄で、株価の下落により投資妙味が高まった銘柄などです。売却した銘柄は、新型コロナの影響で需要減速を見越した一部のヘルスケア機器・用品銘柄や、新薬の臨床試験等に遅延が生じる可能性のあったバイオテクノロジー銘柄などです。

4 コロナショック後(2020年4月~)

世界的に経済正常化がみられる中、ヘルスケア市場もおおむね堅調に推移し、バイオテクノロジーやヘルスケア機器・用品など、幅広い分野の銘柄を購入しました。

またサイズ別でみると、バイオ テクノロジー銘柄を中心に、上場 から日の浅い中小型銘柄の購入に つながるケースが増えました。

(出所)ウエリントン社のコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は一例であり全てを網羅するものではありません。・業種は、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類しています。・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

今後の運用方針

今後の運用方針と、ヘルスケア業界の見通しの中から 米国バイオテクノロジー企業のIPOを取り上げてご紹介します。



■ 今後の運用方針

引き続き、個別銘柄の中長期的な収益成長力などを評価し選別を行い、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる企業を中心に投資を行っていく方針です。

今後、バイオテクノロジー技術の発展や、医薬品、医療サービスへの価格抑制圧力は企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想され、個別銘柄の選別がより重要と考えています。

ヘルスケア業界の見通し Pick Up 〜米国バイオテクノロジー企業のIPO〜

右図のヘルスケアに関するIPO件数の推移(米国)を見ると、ヘルスケア全体の件数が増加傾向にあるだけでなく、バイオテクノロジーの件数増加とシェア拡大が見てとれます。この背景には、遺伝子関連技術の進歩・大幅なコスト低下に伴い研究開発が活発に行われるようになっただけでなく、医薬品の商業化に向けた企業間の協働の進展などもあり、この傾向はしばらく続くことが予想されます。そのため、当ファンドの投資対象として、この分野はさらに広がる可能性があると見ています。

IPO: Initial Public Offeringの略称で、一般的に株式公開を指します。未公開会社の株式が金融商品取引所への上場により、株式市場において自由に売買が可能な状態となることをいいます。



(出所)ウエリントン社のコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 (グラフ期間)2011年~2021年(2021年は9月末まで)、グラフについて:米国の取引所にIPOした銘柄(OTC(店頭取引)および取引所の記載がないものは除く)について、取引年ベースで集計。業種はBloombergの分類による。その他へルスケア:医薬品、ヘルスケア・サービス、ヘルスケア製品

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での 見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

よくあるお問い合わせ 〜組入銘柄の開示について〜

「ニュースで話題になったあの銘柄は組み入れられていますか。」など個別銘柄の組入有無につきまして、弊社にお問い合わせいただくことがございます。当ファンドの全組入銘柄は「運用報告書(全体版)」(年2回)に開示しております。また、上位10銘柄につきましては「月報」(毎月)にて開示しておりますのでご覧ください。いずれも、弊社HPのファンドページ(https://www.am.mufg.jp/fund/148106.html)にてご確認いただけます。

【本資料で使用している指数について】■所属する業種全体: MSCIワールド ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス インデックス 本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html)を合わせてご確認ください。

【GICS (世界産業分類基準) について】Global Industry Classification Standard ("GICS") は、MSCI Inc.とS&P (Standard & Poor's) が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

〈愛称:健次〉

追加型投信/内外/株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■ファンドの特色

特色1 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。

- ・世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
- 株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。

特色2 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資(バリュー投資)を行います。

- ・新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
- ・銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。
- 企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競合性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ*を行います。
- ・外貨建資産については、原則として為替へッジは行いません。
- *【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

特色3 株式等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。

※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

特色4 年2回決算を行い、収益の分配を行います。

- ・毎年2月27日および8月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配方針
- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。 (ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

■ファンドのしくみ

・ファミリーファンド方式により運用を行います。 <当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド> グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

〈愛称:健次〉

追加型投信/内外/株式

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの<u>運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。</u>

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株価変動 株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株 リスク 式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

為替変動 リスク 当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資します(ただし、これらに限定されるものではありません。)。外貨建資産に 投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇 要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

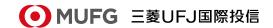
<u>上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。</u>

■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、 基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、 当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を 示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用 状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

手続·手数料等

■お申込みメモ	
購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2029年2月27日まで(2004年2月27日設定)
繰上償還	当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2・8月の27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

〈愛称:健次〉

追加型投信/内外/株式

手続•手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入価額に対して、上限3.30%(税抜 3.00%)(販売会社が定めます)

(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)

日々の純資産総額に対して、<u>年率2.420%(税抜年率2.200%)</u>をかけた額

その他の費用・ 手数料 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。

担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

- ※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。
- ※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

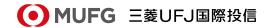
●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

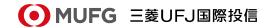
<ホームページアドレス> https://www.am.mufg.jp/ <お客さま専用フリーダイヤル> 0120 – 151034 (受付時間 営業日の9:00~17:00) ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 株式会社りそな銀行



販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

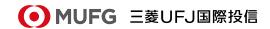
_ファンド名称:グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファン	<u>/ド</u>					
商号		登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	0	0		
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	0			
あかつき証券株式会社		関東財務局長(金商)第67号	0	0	0	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	0			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	0			
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	0		0	
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	0		0	
株式会社伊予銀行(委託金融商品取引業者 四国 アライアンス証券株式会社)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	0		0	
岩井コスモ証券株式会社		近畿財務局長(金商)第15号	0		0	
エース証券株式会社		近畿財務局長(金商)第6号	0			
auカブコム証券株式会社		関東財務局長(金商)第61号	0	0 0	0	
SMBC日興証券株式会社 株式会社SBI証券	立 	関東財務局長(金商)第2251号 関東財務局長(金商)第44号	0	0	0	0
FFG証券株式会社		福岡財務支局長(金商)第5号	0		U	U
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	0			
株式会社人力銀行 岡三オンライン証券株式会社		関東財務局長(金商)第52号	0	0	0	
岡二ケンプリン証券株式会社 岡地証券株式会社		東海財務局長(金商)第5号	Ö	Ö	U	
株式会社沖縄海邦銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第3号	Ö			
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	ŏ			
株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	ŏ			
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	Ö			
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	Ö		0	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	Ö			
木村証券株式会社		東海財務局長(金商)第6号	Ö			
九州FG証券株式会社		九州財務局長(金商)第18号	Ö			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号	Ö			
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	0		0	
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	0			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	0			
光世証券株式会社		近畿財務局長(金商)第14号	0			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	0			
寿証券株式会社		東海財務局長(金商)第7号	0			
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	0			
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	0		0	
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	0			
篠山証券株式会社		近畿財務局長(金商)第16号	0			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	0			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	0		0	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	0			
四国アライアンス証券株式会社 静銀ティーエム証券株式会社		四国財務局長(金商)第21号 東海財務局長(金商)第10号	0			
<u> </u>		東北財務局長(金商)第37号	0			
C C C C C C C C C C		北陸財務局長(金商)第6号	0			
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	ŏ			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	Ö			
株式会社証券ジャパン		関東財務局長(金商)第170号	Ö			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	Ö			
在内証券株式会社		東北財務局長(金商)第1号	Ö			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	Ö		0	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	0		0	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	ŏ)	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	Ö		0	0
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第61号	Ö		Ŭ	Ŭ
第四北越証券株式会社		関東財務局長(金商)第128号	Ö			
大万証券株式会社		東海財務局長(金商)第14号	Ö			
立花証券株式会社		関東財務局長(金商)第110号	Ö		0	
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	Ö		-	
ちばぎん証券株式会社		関東財務局長(金商)第114号	Ö			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	0			
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	0			
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	0		0	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	0		0	0



販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファン 商号		登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	0			
とうほう証券株式会社		東北財務局長(金商)第36号	0			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	0			
株式会社東和銀行		関東財務局長(登金)第60号	0			
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	0			
株式会社鳥取銀行 株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	0			
<u>株式会社トマト載行</u> 株式会社富山第一銀行	登録金融機関 登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号 北陸財務局長(登金)第7号	0			
<u> </u>		近畿財務局長(金商)第24号	0			0
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	Ö)
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	Ö			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	0			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	0			
南都まほろば証券株式会社		近畿財務局長(金商)第25号	0			
西村証券株式会社		近畿財務局長(金商)第26号	0			
日産証券株式会社		関東財務局長(金商)第131号	0		0	
八十二証券株式会社		関東財務局長(金商)第21号	0	0		
PWM日本証券株式会社 株式会社東口本銀行		関東財務局長(金商)第50号	0			0
株式会社東日本銀行 株式会社肥後銀行	登録金融機関 登録金融機関	関東財務局長(登金)第52号 九州財務局長(登金)第3号	0			
<u>怀式云征肥後越行</u> 百五証券株式会社		東海財務局長(金商)第134号	0			
告五品分林式会位 株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	Ö		0	
ひろぎん証券株式会社		中国財務局長(金商)第20号	Ö		0	
フィデリティ証券株式会社		関東財務局長(金商)第152号	Ö	0		
株式会社福井銀行		北陸財務局長(登金)第2号	Ö		0	
株式会社福岡銀行		福岡財務支局長(登金)第7号	0		0	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	0		0	
株式会社豊和銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第7号	0			
松井証券株式会社		関東財務局長(金商)第164号	0		0	
松阪証券株式会社		東海財務局長(金商)第19号	0	0		
マネックス証券株式会社 丸八証券株式会社		関東財務局長(金商)第165号 東海財務局長(金商)第20号	0	0	0	0
<u> </u>		関東財務局長(金商)第172号	0			
二个证券休式会位 株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	Ö		0	0
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	Ö		Ö	Ö
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	0	0	0	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社		関東財務局長(金商)第2336号	0	0	0	0
水戸証券株式会社		関東財務局長(金商)第181号	0	0		
株式会社みなと銀行		近畿財務局長(登金)第22号	0		0	
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	0			
株式会社武蔵野銀行 めぶき証券株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号 関東財務局長(金商)第1771号	0			
めから証券休式会社 株式会社山形銀行		東北財務局長(登金)第12号	0			
株式会社山梨中央銀行		関東財務局長(登金)第41号	Ö			
<u>探究公社出来于大城市</u> 楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	Ö	0	0	0
株式会社りそな銀行		近畿財務局長(登金)第3号	Ö	Ö	Ö	
リテラ・クレア証券株式会社		関東財務局長(金商)第199号	Ö			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	0			·
足利小山信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号				
足立成和信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号				
あぶくま信用金庫*	登録金融機関	東北財務局長(登金)第24号				
尼崎信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	0			
大川信用金庫 * 大阪信用金庫 *	登録金融機関 登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号 近畿財務局長(登金)第45号				
<u> </u>		近畿財務局長(登金)第47号	0			
大阪ファイ信用並革 * 大牟田柳川信用金庫 *		福岡財務支局長(登金)第20号				
柏崎信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第242号				
鹿沼相互信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号				
蒲郡信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号				
川崎信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第190号	0			
川崎信用金庫 * きのくに信用金庫 * 京都中央信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号 近畿財務局長(登金)第53号	0			



販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

ファンド石林:グローバル・ベルスグテ&バイオ・フ	7.51					一般社団法人
*B		3649 AD AT	日本証券業	一般社団法人 日本	一般社団法人	第二種
商号		登録番号等	協会	投資顧問業	金融先物 取引業協会	金融商品
				協会	双引来励云	取引業協会
桐生信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫 *	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
郡山信用金庫 *	登録金融機関	東北財務局長(登金)第31号				
湖東信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第57号				
埼玉縣信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	0			
さわやか信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	0			
三条信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号				
しずおか焼津信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号				
しののめ信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
芝信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第158号				
しまね信用金庫 *	登録金融機関	中国財務局長(登金)第27号				
西武信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	0			
瀬戸信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	0			
高崎信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号				
但馬信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
多摩信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第169号	0			
栃木信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
長野信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	0			
長浜信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第69号				
奈良中央信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号				
新潟信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第249号				
西尾信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	0			
西中国信用金庫 *	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
のと共栄信用金庫 *	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
浜松磐田信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
飯能信用金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
姫路信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	0			
兵庫信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	Ö			
平塚信用金庫*	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
広島信用金庫*	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	0			
福井信用金庫*	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
碧海信用金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	0			
大和信用金庫 *	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	0			
沖縄県労働金庫 *	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第8号				
九州労働金庫 *	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第39号		1		
近畿労働金庫 *	至	近畿財務局長(登金)第90号		1		
四国労働金庫 *	登録金融機関	四国財務局長(登金)第26号				
四国方側並庫 * 静岡県労働金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第72号				
中央労働金庫 *	登録金融機関			1		
		関東財務局長(登金)第259号				
中国労働金庫 *	登録金融機関	中国財務局長(登金)第53号				
東海労働金庫 *	登録金融機関	東海財務局長(登金)第70号				
東北労働金庫 *	登録金融機関	東北財務局長(登金)第68号				
長野県労働金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第268号				
新潟県労働金庫 *	登録金融機関	関東財務局長(登金)第267号				
北海洋景色度	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第36号				
北海道労働金庫 *	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第38号		<u> </u>		

当ファンドの 動画もぜひご覧ください



まずはここから **商品** 説明動画



^{注目の技術} 特集 ゲノム解析

